

# 2022年 プログラム近況報告



World Vision

この子を救う。未来を救う。

## ケニア イララマタク地域開発プログラム

### 地域を代表し、皆さまに感謝いたします



日頃より、チャイルド、そして弱い立場に置かれた子どもたちを支援していただき、心より感謝いたします。チャイルド・スポンサーの皆さまの継続した支えによって子どもたちの生活は改善され、また達成が難しいと思われた課題でさえも、より良い方向へと向かっています。

ミラシン・メイグラン  
イララマタク 地域開発プログラム  
マネージャー

2

地域内の2つのグループが協働して、子どもの保護のための公的サービスの改善を求めるキャンペーンを行い、行政に改善要望を出すことができました。

80

新型コロナウイルス感染症拡大において子どもたちが虐待から守られるよう、前線で働くスタッフ80人が、子どもの保護に関わる問題について研修を受けました。

ケニア：日本 出典：国連開発計画（UNDP）2020年

5歳未満児死亡数  
(出生1,000人あたり)



41.1

2.5

平均就学年数



6.6

12.8

1,000人あたりの18歳未満の女性の出生数



75.1

3.8



「衛生クラブでは、私たちに月経に関するさまざまなことを教えてくれました。生理用品やその他の身の回りの品が入ったキットをもらえたおかげで、今では学校で生理が始まっても家に帰らなくてすむようになりました」

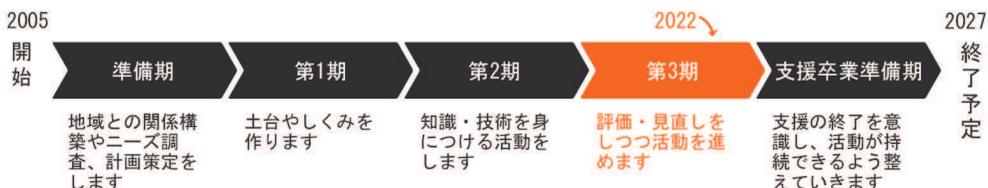
ンカムヌさん、14歳（前列一番右）

## 450

地域の子どもたちや人々を新型コロナウイルス感染症から守るため、せっけん・水タンク・手洗いキットなどの衛生キット450セットを地域住民に提供しました。

## 610

新型コロナウイルス感染症拡大において子どもたちが虐待から守られるよう、610人の子どもたちがの子どもの保護活動に参加しました。



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

# 「学校に戻れるよう励ましてくれました」



「新型コロナウイルス感染症の流行で学校が閉鎖されたとき、同年代の悪い仲間たちと一緒に過ごすようになりました」と語るンタシンコイクくん（16歳、前列左）。「出歩いて人に嫌がらせをしたり、周りの子にも、学校をやめて自分たちの仲間になるように声をかけたりしていました」

しかし、チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援によって状況は変わりました。学校の教員や教育関係者、地域のリーダーをサポートし、ンタシンコイクくんのような生徒たちがカウンセリングを受けて、学校に戻れるように働きかけたのです。

「カウンセリングを受けて、ぼくは間違った方向に進んでいたことに気づくことができました」とンタシンコイクくん。「1年も離れてしまったけれど、ワールド・ビジョンや先生の説得のおかげで学校に戻ることができました。これからは勉強を頑張っていきたいです」

ご支援により、チャイルドと家族の生活に  
大きな変化がもたらされています

## ケニア イラマタク地域開発プログラム（KEN-182381）

2021年度（2020年10月1日～2021年9月30日）

### 会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	52,664,850
前期からの繰越額	2,845,803
プログラム支援額合計	55,510,653

プログラム支出額	
新型コロナウイルス緊急対応プロジェクト	4,969,524
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	47,291,458
プログラム支出額合計	52,260,982
次期繰越額	3,249,671

### 活動内容

- 
**新型コロナウイルス緊急対応プロジェクト**
  - 新型コロナウイルス感染症予防に関する啓発活動
  - 医療従事者や村落保健員への研修
  - 感染症予防のための手洗い用品やマスクの配布
- 
**スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト**
  - 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
  - チャイルドの定期的なモニタリング
  - 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
  - 月経衛生管理に関する啓発活動やキットの配布

 お問い合わせ先  
 特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
 TEL：03-5334-5351

 Eメール：dservice@worldvision.or.jp  
 ホームページ：www.worldvision.jp

プログラム番号：KEN-182381